



第1131号
2009年7月12日発行
日本聖公会東京教区
港区芝公園3-6-18
編集人 伊藤裕元

WEB: http://www.nskk.org/tokyo/index.htm E-MAIL: comm.tko@nskk.org
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

◇7月の代祷・信施奉献先
▽アジア学院の働きのため▽海の主日(7月第2主日7・12)
▽聖公会八王子幼稚園のため▽女性の家H E L Pのため
《奉献先から》
聖公会八王子幼稚園
3年後に創立百周年を迎える八王子市第1号の老舗園。少人数横割りであるが全員兄弟姉妹感覚の縦割りも特徴。子ども・保護者・教会・地域と「つながりある」を年主題としている。専任教諭4人、非常勤教職員3人のスタッフのもと、いきいき、のびのび遊びを中心に園生活を楽しむ48人の子どもたち。7月の暗唱聖句「主よ、お話ください。しもべは聞いております」を唱えるサムエルたち。神さまの愛に

今週・来週の予定
7月12日~25日

- 12(日) 聖霊降臨後第6主日
主教巡回 神愛教会
- 13(月) 財政委員会
- 14(火) 銀座朝拝会
人権委員会(聖バルナバ)
月島将来計画準備室
- 15(水) 教役者レクイエム
信仰と生活委員会
芝公園~特別委員会
- 16(木) 環状G牧師協議会
人権日の丸・君が代
常置委員会
- 17(金) I T 特別委員会
- 19(日) 聖霊降臨後第7主日
主教巡回
聖パトリック教会
外濠G教会協議会
山手G教会協議会
多摩G教会協議会
環状G教会協議会
- 20(月・休) 財政委員会
- 22(水) 教役者聖餐式
- 23(木) 山手G牧師協議会
- 24(金) 城南G牧師協議会

説教 植田仁太郎主教
レプラザ

主教座聖堂

▽司祭 後藤榮吉 ▽司祭 堀江議
作 ▽司祭 多川幾造 ▽執事 永
田保次郎 ▽伝道師 ミス・マンダ
▽司祭 E・H・アーノルド
◇夏季キャンプ(1)
▽神愛教会 7月18日(土)
▽20(月)・小山祈りの家
清瀬聖母教会 7月31日(金)
8月2日(日)・箱根スコ

含まれてみな元氣。

6月末から園舎建て替え工事が始まった。コンセプトは「夢・温・一体」。教職員、教会員一同の夢が今花開く。12月竣工。
(園長・司祭・岩前 宏)

◆教役者レクイエム

7月15日(水)10時半

《掲載記事の転用可(事前連絡要)》

病気に苦しみ、死を迎える幼子と関わることは、私にとって人生の最もつらいことの一つである。危篤状態の子どもの枕元に座るとき、その葬儀の説教を考えると、「果たして何が言えようか」といつも悩む。この悲嘆極まりない事実を目の前にして、言葉がずっと出て来ない...

《み手のなかで》

子どもたちをわたしの
ところに来させなさい

司祭 ケビン・シーバー

てくれる。自らを犠牲にしても、最後の最後までその子の幸せを祈り、頑張る母親、父親を見ると、十字架の愛がもつとしみじみと感じられる気がする。このような愛は、自己中心や貪欲やつまらない心配だらけである世の中に輝かしい光となる。親の便宜のために胎内の子どもの命が奪い取られる暗闇に対して上げられる叫びである。

しかも私があります強く思うのは、この幼子たちはまさにみ手の中にあるのだ、ということである。天の保証を最も実感するときは、「イエスを信じて眠りについた」子

しかし、痛々しくはあるけれど、この出会いから多くのことを学ぶ。小児の患者とその両親は、まず時間について教えてくれる。時間は長さではなくて深さで計るものだと。また、生きることについて教えてくれる。その日その日が贈り物であり、見る目さえあれば今日も恵みに満ちていることに気づくのだと。そして愛について教え

の額に手を置き祝福を祈るときである。また会える日を望みつつ、この可愛らしい子どもたちとの出会いに恵まれ、天の父にただただ感謝である。
(聖路加国際病院聖ルカ礼拝堂副牧師)

信仰と生活委員会報告

(6月25日)

*秋季運動会につき青年支援部会・大人企画メンバーなどで企画を開始(6月30日初会合)。

*宣教150周年記念礼拝での子どもたちの聖歌奉唱は2曲とし、選曲後、教区内各教会・他教区教区事務所宛に譜面送付。

*信徒講座の講師数人を選考。

*聖書通信学習の企画開始。

*その他。

▽聖公会八王子幼稚園園舎・

八王子復活教会牧師館の建替え

このほど施工業者と契約を終え、新園舎上棟へ向けて工事が始まった。12月に新園舎に移転して旧園舎解体に入る。その間、幼稚園は休むことなく運営

され、牧師館のみ一時、移転となる。一方、工事費のうち5百万円分の一般募金は進行中で、年末まで続けられる。照会№042(642)3564・同幼稚園。「4面に関連記事」

▽COAサマーキャンプ

今年「よいい、どんっ!」のテーマのもと、12歳〜18歳中高生世代が同じスタートラインから新しい一歩を…の気持ちを込めて8月21日(金)〜24日(月)、長野・戸隠ガールスカウトセンターで。参加費¥2万3千円、申込締切日¥7月26日。COA代表者¥新田紗世、協力¥宮崎光司祭・須賀義和司祭、後援¥信仰と生活委員会。照会先¥042(493)7472・清瀬聖母教会宮崎司祭。

《今、この教会では…》

牛込聖公会聖バルナバ教会

当教会は1878年5月「牛込昇天教会」として誕生し、昨年、130周年を迎えました。激動の時代の流れの中で、神のご加護と数多くの方々の力に支えられて今の教会があることを決して忘れてはならないと心に念じています。

当教会は地下鉄東西線「神楽坂」から徒歩1分にあります。

最近、神楽坂界限はテレビの食べ歩き番組にも紹介され週末には、教会の前を多数の人たちが通り過ぎていきます。この人たちの何人かが、当教会に気づき、立ち寄ってみようと思うような教会にできないものかと思っています。(加藤忠郎)

【クローズアップ】21

沖縄週間・沖縄の旅に参加して

6月19日から22日まで、「命

どう宝く本当に武力は必要か?」をテーマに企画された「沖縄週間・沖縄の旅」に参加してきました。沖縄教区宣教部と管区正義と平和委員会の共催でした。聖公会に転入してからの浅いボクが参加を決めたのは、かつて沖縄で10年生活し、青年たちに向けて沖縄のことを発信してきた初心に返るきっかけになればと思ったからです。

全国から40人を越える参加者が集まり、初日は那覇市内ウォーキングで壺屋に行きました。こういう企画は良いですね。沖縄は戦争と基地だけの島

ではないですし、まずは沖縄を好きになることから沖縄につながる事ができると思いますから。その後、沖縄教区センターへ移動して開会礼拝と基調講演。池住義憲さんの基調講演「イラク派兵違憲訴訟の『違憲判決』について」非武装の勧め」は、とてもわかりやすく考えさせられるものでした。

2日目は朝から辺野古へ。辺野古のことについて知らないわけではないけれど、実際に非暴力で新しい基地が作れないよう体を張って日々生活している人たちの生の声を聞くと、本当に身が引き締まります。ボクたちは実際に関わろうとしない言い訳をいくらでもできますが、彼らはそういうわけにはいきませ

んから。昔、沖縄のある女性の方からこんなことを言われました。「あなたたちが、あなたたちの足元の問題と向き合うことで私たちは連帯できる」と。ボクたちは、ともすればそれぞれの場所から沖縄に関わろうとしませんが、でも本当はそういうことではないことを沖縄の太陽と空と雲と海を見ながら考えました。

3日目の慰霊の日礼拝、その後の「平和基本法について」の寺澤征一氏の講演、最終日の南部戦跡での学びと結構ハードな毎日でしたが、とても満足いく旅でした。今回、多くの方と出会えた恵みに感謝しつつ、これから共に主の平和実現のために働いていけたらと思います。

武政信宏(神愛教会)